

科目名	海外観光地理ⅡB						
科目名(英)	Overseas tourism geography ⅡB						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	大岡 牧代	
実施年度	2022年度		実施時期	後期	担当者実務経験	運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事	
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	旅行業界および旅行関連業界で働くうえで、海外の観光地理知識は必須である。 この授業では、どのようなものが観光資源となり得るのかを理解し、 1年次および2年次前期までに習得した海外観光地理知識を再確認するとともに、 日本からの渡航者が多いアジア主要国の観光地理についてより深い知識を習得する。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					アジア主要国およびそれらの首都の名称と位置が把握できている。	
	○					アジア主要国の使用言語や使用通貨など国の概要を説明することができる。	
		○				世界遺産や料理、伝統行事など、観光資源になり得るものを説明することができる。	
	○					アジア主要国の観光資源を1か国につき10以上挙げることができる。	
				○		各国の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	旅行実務シリーズ「海外観光資源」 JTB総合研究所 「旅に出たくなる地図 世界」 帝国書院						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1年次および2年次前期に習得した海外観光地理知識の復習・演習 — 主にヨーロッパ				授業で出てきた観光資源の特徴をおさえ、その所在する都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	2	1年次および2年次前期に習得した海外観光地理知識の復習・演習 — 主にヨーロッパ				授業で出てきた観光資源の特徴をおさえ、その所在する都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	3	1年次および2年次前期に習得した海外観光地理知識の復習・演習 — 主に北米				授業で出てきた観光資源の特徴をおさえ、その所在する都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	4	1年次および2年次前期に習得した海外観光地理知識の復習・演習 — 主に中南米				授業で出てきた観光資源の特徴をおさえ、その所在する都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	5	1年次および2年次前期に習得した海外観光地理知識の復習・演習 — 主にオセアニア				授業で出てきた観光資源の特徴をおさえ、その所在する都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	6	1年次および2年次前期に習得した海外観光地理知識の復習・演習 — 主にアフリカ				授業で出てきた観光資源の特徴をおさえ、その所在する都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	7	東アジアの観光資源① — 韓国				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	8	東アジアの観光資源② — 中国北部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	9	東アジアの観光資源③ — 中国南部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	10	東アジアの観光資源④ — 台湾				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	11	東南アジアの観光資源① — フィリピン、ベトナム、タイ				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	12	東南アジアの観光資源② — カンボジア、マレーシア				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	13	東南アジアの観光資源③ — シンガポール、インドネシア				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	14	南アジアの観光資源 — インド、ネパール、スリランカ				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認すること。(0.5時間)	
	15	アジア主要各国の基礎知識と観光資源のまとめ				後期期末試験に向けて、学習範囲の復習をしておくこと。(2時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題提出を1回課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	課題	◎	◎		◎		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	世界遺産地理Ⅱ											
科目名(英)	World HeritageⅡ											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		若松 昌枝			
実施年度	2022年度		実施時期		後期		担当者実務経験		旅行会社にてカウンターセールスとして勤務			
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	1年次に学んだ知識を基に、海外への世界遺産へと目を向ける。主に世界遺産の多い中国やイタリア、日本人観光客に人気のある遺産を中心に、日本の世界遺産との共通点や相違点を知り、世界遺産の価値についての理解を深める。また、プレゼンテーションの時間を設け、旅の魅力を発信する機会とする。											
授業形式	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○				アジアの世界遺産を3つ挙げ、説明することができる。						
	○	○				ヨーロッパの世界遺産を3つ挙げ、説明することができる。						
			○	○		興味深い世界遺産についてのリサーチを行い、その魅力についてのプレゼンをすることができる。						
				○		世界の自然や文化の価値についての理解を深め、旅の魅力の発信者となることができる。						
テキスト・教材 参考図書	「きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト」 NPO法人世界遺産アカデミー											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	世界遺産の基礎知識の復習					テキストの該当箇所を読み、復習しておくこと(0.5時間)					
	2	復習と確認 ～日本の自然遺産、最新の登録物件、暫定リストについて～					テキストの該当箇所を読み、復習しておくこと(0.5時間)					
	3	東南・中央アジアの世界遺産① (中国)					小テストを実施するため、範囲の復習をしておくこと(1時間)					
	4	東南・中央アジアの世界遺産② (カンボジア、タイ)					レポート課題を行う(0.5時間)					
	5	東南・中央アジアの世界遺産③ (プレゼンテーション準備)					プレゼンテーションの題材を決めておくこと(0.5時間)					
	6	東南・中央アジアの世界遺産④ (プレゼンテーション)					プレゼンテーションができるように準備をしておくこと(1時間)					
	7	世界の自然遺産 (ンゴロンゴロ自然保護区、グレート・バリア・リーフ)					プレゼンテーションの復習をしておくこと(0.5時間)					
	8	ヨーロッパの世界遺産① (イタリア)					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと(0.5時間)					
	9	ヨーロッパの世界遺産② (フランス)					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと(0.5時間)					
	10	ヨーロッパの世界遺産③ (プレゼンテーション準備)					プレゼンテーションの題材を決めておくこと(0.5時間)					
	11	ヨーロッパの世界遺産④ (プレゼンテーション)					プレゼンテーションができるように準備をしておくこと(1時間)					
	12	負の遺産と危機遺産					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと(0.5時間)					
	13	最終プレゼンテーション準備① 題材選択とパワーポイント作成					プレゼンテーションの内容を考えておくこと(0.5時間)					
	14	最終プレゼンテーション準備② パワーポイント作成と各自リハーサル					プレゼンテーション本番に向けての準備をしておくこと(2時間)					
	15	最終プレゼンテーション本番					プレゼンテーションの振り返りを行っておくこと(0.5時間)					
評価方法	(1)プレゼンテーションを3回実施する。(2)レポート課題 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	プレゼンテーション	○		○		○		○				80%
	レポート課題	○		○								20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。											

科目名	旅行商品分析B						
科目名(英)	Planning Articles Analysis B						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	松藤 諭	
実施年度	2022年度		実施時期	後期	担当者実務経験	旅行会社で営業、添乗、管理業務	
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	旅行会社の販売上の基本的なツールである国内企画商品パンフレットを中心した媒体の内容を理解する。その内容、販売上の注意点を正確に顧客に伝えることができるようになる。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				国内企画商品の内容、約款上の注意点を理解し、顧客に案内できる。	
	○	○				国内企画商品それぞれの特徴、セールスポイントが案内できる。	
	○	○				ケーススタディ演習を通じ、顧客よりのアレンジその他に対応できる。	
	○	○				受注型企画旅行の企画、算出	
テキスト・教材 参考図書	旅行会社国内企画商品パンフレット、新聞広告 講師作成レジメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	国内企画商品とは					
	2	関東方面企画商品(航空機・JR利用・ビジネス型)① 商品概要				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	3	関東方面企画商品(航空機・JR利用・ビジネス型)② 演習問題				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	4	関西方面企画商品(航空機・JR利用・ビジネス型)③ 商品概要				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	5	関西方面企画商品(航空機・JR利用・ビジネス型)④ 演習問題				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	6	第1回確認テスト(①～④)				確認テストの予習をしておくこと(0.5時間)	
	7	沖縄・南西諸島企画商品⑤ 商品概要				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	8	沖縄・南西諸島企画商品⑥ 商品概要・演習問題				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	9	沖縄・南西諸島企画商品⑦ 演習問題				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	10	北海道・スキー商品⑧ 商品概要				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	11	北海道・スキー商品⑨ 商品概要・演習問題				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	12	北海道・スキー商品⑩ 演習問題				課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	13	第2回確認テスト(⑤～⑩)				確認テストの予習をしておくこと(0.5時間)	
	14	受注型企画旅行作成・発表①				課題の資料を読んでおくこと(0.5時間)	
	15	受注型企画旅行作成・発表②				課題の資料を読んでおくこと(0.5時間)	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回実施する。 (2)授業の中でケーススタディ演習を、実施し、学生が発表する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				40%
	演習・課題の発表	○	○		○		40%
	授業中の発表	○			○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	国内プランニング実務											
科目名(英)	Domestic Planning practice											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		三笥 秀一郎			
実施年度	2022年度		実施時期		後期		担当者実務経験		旅行会社にて営業職、添乗員、商品企画として勤務			
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	ツアープランナーの業務内容を理解し、国内旅行の旅行パンフレットの作成の際に必要なプランニングの知識を学習。オリジナルの国内旅行を作成し、旅行商品内容のプレゼンテーションを行う。											
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					プランニングの基礎知識を身につけることができる。						
	○					広告表示義務を理解することができる。						
	○	○				行程表の表示項目を理解することができる。						
	○	○				見積書の表示項目と内容を理解することができる。						
テキスト・教材 参考図書	各種関連資料プリント											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1	ツアープランナーとは										
	2	プランニングの考え方						授業内容の復習(0.5時間)				
	3	九州、山口の日帰り旅行研究、情報共有						授業内容の復習(0.5時間)				
	4	行程表の内容理解						行程表作成事前準備(1時間)				
	5	行程表作成(レイアウトの作成)						行程表の自己チェック(1時間)				
	6	行程表作成(旅程作成)						行程表内容確認(0.5時間)				
	7	見積書の内容理解演習						授業内容の復習(0.5時間)				
	8	見積書の作成(バス運賃計算)						見積書の作成作業(1時間)				
	9	見積書の作成(旅費計算)						見積書の作成作業(1時間)				
	10	旅行商品の特典について内容と分析						授業内容の復習(0.5時間)				
	11	見積書の作成(最終旅費調整)						最終見積書の自己チェック(1時間)				
	12	プレゼンテーション作成演習						資料作成事前準備(1時間)				
	13	プレゼンテーション作成						資料の自己チェックと発表準備(2時間)				
	14	プレゼンテーション及び実施プランの決定						発表内容の確認(1時間)				
	15	実地研究旅行の検証						検証内容の整理(1時間)				
評価方法	(1)各作成物の完成度にて評価。(2)出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	作成物の完成度				◎		○				80%	
	出席状況						◎				20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位認定をしない。											

科目名	インバウンド概論							
科目名(英)	Inbound Overview							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	八尋 隆志	
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験	旅行代理店勤務	
対象学科・学年	トラベル科 2年							
授業概要	ストップコロナ後の外国人旅行者の動向、インバウンドツーリズムにおいてはリバウンドが激しく多数の外国人が日本を訪れ日本経済はどのように変化していくかを学習し、合わせて業界専門英単語や九州のインバウンド観光地の学習をします。							
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				実際の訪日外国人旅行を検証し、日本のプラス・マイナス要因と経済効果を説明できる。		
	○					業界の専門英単語の意味を100以上答えることができる		
						九州のインバウンド観光地を説明できる		
テキスト・教材 参考図書	観光ビジネス実践ワークブック(地域インバウンド)、JATA資料及び業界誌							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	インバウンドとは(国内旅行・海外旅行の相違点)						
	2	外国人から見た日本の魅力(プラス・マイナス要因)						
	3	実際の訪日外国人の行動(日程や観光地) 訪日外国人が選ぶ日本の観光地Best10※訪日、添乗 経験談						
	4	訪日外国人の国別消費額・入国者数、日本への入国VISAについて 訪日外国人の日本のゴールデンコースについて						
	5	国別の習慣や食事について(ハラル・イスラム教) 訪日外国人のショッピング事情について						
	6	インバウンド旅行の業務(仕入と販売について) 世界の観光地(外国人から見た)※基礎編 確認テスト					基礎編の授業内容を復習しておくこと	
	7	訪日外国人から見た九州の観光地(No.1)						
	8	訪日外国人から見た九州の観光地(No.2)						
	9	訪日外国人から見た九州の観光地(No.3)						
	10	※九州観光マスター編 確認テスト					九州観光の授業内容を復習しておくこと	
	11	業界の専門英単語の習得(No.1)						
	12	業界の専門英単語の習得(No.2)						
	13	業界の専門英単語の習得(No.3)						
	14	※確認テスト 専門英単語					業界英単語の授業内容を復習しておくこと	
	15	総合確認テスト						
評価方法								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験(筆記)	◎	◎				50%	
	確認テスト	○	◎				30%	
	授業態度				◎		20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない							

科目名	ディスプレイ演習						
科目名(英)	Display Exercise						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	若松 昌枝
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験	旅行会社にてカウンターセールスとして勤務
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	商品を「見せる」「売る」ための戦略の1つとして、店舗ディスプレイがある。店舗見学などを通して、ディスプレイの在り方と役割について考えた上で、実際に作成する。季節やテーマに沿ったPOP作りにチャレンジしていく。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ディスプレイの役割や効果について説明することができる	
	○	○	○			テーマに沿ったPOPを作成することができる	
	○	○	○			テーマや役割、効果に応じた、飾り付けをすることができる	
				○		興味を持って、積極的、意欲的に取り組むことができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	ディスプレイの在り方と役割					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	2	店舗見学					見学内容をまとめ、発表の準備をしておくこと(1時間)
	3	店舗見学で学んだこと プレゼンテーション					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	4	ハロウィンと秋をテーマにしたPOP作り (構成と作成)					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	5	ハロウィンと秋をテーマにしたPOP作り (作成)					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	6	ハロウィンと秋をテーマにしたPOP作り (飾り付け)					発表の準備をしておくこと(0.5時間)
	7	ハロウィンと秋をテーマにしたPOP作り (プレゼンテーション)					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	8	クリスマスと冬をテーマにしたPOP作り (構成と作成)					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	9	クリスマスと冬をテーマにしたPOP作り (作成)					発表の準備をしておくこと(0.5時間)
	10	クリスマスと冬をテーマにしたPOP作り (プレゼンテーション)					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	11	旅行パンフレットのPOP作成 (グループワーク テーマ決めと役割分担)					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	12	旅行パンフレットのPOP作成 (グループワーク 構成と作成)					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	13	旅行パンフレットのPOP作成 (グループワーク 作成)					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
	14	旅行パンフレットのPOP作成 (グループワーク 作成と飾り付け)					発表の準備をしておくこと(0.5時間)
	15	旅行パンフレットのPOP作成 (グループワーク プレゼンテーション)					復習と振り返りをしておくこと(0.5時間)
評価方法	(1)POP作品 (2)プレゼンテーション 以上を下記の割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作品		○	○	○		80%
	プレゼンテーション		○	○	○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	英語検定(TOEIC)対策ⅡB					
科目名(英)	EIKEN Test /TOEIC Test Strategies ⅡB					
単位数	4単位		時間数	60時間	担当者	和田 菜穂/野々村 賢一
実施年度	2022年度		実施時期	後期	担当者実務経験	和田:外資系航空会社にて客室乗務員として勤務
対象学科・学年	トラベル科2年					
授業概要	国際国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。					
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・International Herald Tribune)、「Financial Times」等一般的な国際英字新聞の記事を読んで、大まかに理解できる。 ・会議の議事項目(アジェンダ)を読んで理解できる。
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。
	○	○				社会性のある話題について書くことができる。(書く) ・今後取引先となりそうな相手に対して、自社製品を紹介・売込みのためのEメールやレターを書くことができる。 ・FAX、E-mailでホテルの予約ができる。
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、Word Power4500、Listening Box for TOEIC他					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	導入、夏休み明け復習テスト、解答＆解説				
	2	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	3	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	4	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	5	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	6	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	7	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	8	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	9	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	10	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	11	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	12	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	13	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	14	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	15	中間テスト、解答＆解説				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	16	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	17	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	18	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	19	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	20	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	21	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	22	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	23	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	24	Business Writing、語彙強化、Dictation				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	25	Business Writing、語彙強化、Dictation				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	26	Business Writing、語彙強化、Dictation				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。

	27	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	28	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	29	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	30	定期試験対策 学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。(12月) 評価方法は800点取得で100%、730点取得で95%、700点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○				10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	石田 小雪/岡本 彩
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	石田:語学教育企業にて数か国のネイティブと勤務
対象学科・学年	トラベル科2年				
授業概要	これまで身につけてきた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようにするためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を使えるようになることを目指す。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			目標
	○	○			説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○			社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○			事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
学習目標 (到達目標)	○	○			与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、ディクテーション、音読、英検リーディング(短文の語句空所補充)			
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検模擬試験 問題1 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検本試験解説 大問1			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検本試験解説 大問2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検本試験解説 大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検本試験解説 モデルライティング練習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検2級本試験結果分析フィードバック、ライティング10問、英検2級攻略法			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

科目名	英語検定(準2級)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies IIB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	石志 正雄
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系翻訳会社にて勤務
対象学科・学年	トラベル科2年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)					
事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)					
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問、TOEIC公式問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			
	2	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検模擬試験 問題1 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検本試験解説 大問1			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検本試験解説 大問2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検本試験解説 大問2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検本試験解説 大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検本試験解説 モデルライティング練習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	期末テスト前復習	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	インターネット旅行情報検索							
科目名(英)	Internet Information retrieval							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	三笥 秀一郎	
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験	旅行会社にて営業職、添乗員、商品企画として勤務	
対象学科・学年	トラベル科2年							
授業概要	インターネットの基礎知識を学び、旅行情報を収集、整理、資料の作成の技術を習得する。また、仕事上で活かせるパソコンソフトの応用法も学習							
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					インターネット用語を覚えることができる。		
		○				効率の良い情報検索方法の知識を習得できる。		
		○	○			パソコンソフトの応用法を習得できる。		
テキスト・教材 参考図書	各種関連資料プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	ビジネスツールとしてのインターネットを知る						
	2	インターネット旅行情報士検定の概要と練習問題					授業内容の復習(0.5時間)	
	3	検索エンジンの機能、コンテンツを知る					授業内容の復習(0.5時間)	
	4	ブラウザの種類の把握と違い					授業内容の復習(0.5時間)	
	5	情報の活用とソフトの応用①業務予定表を作成演習					授業内容の復習(0.5時間)	
	6	情報の活用とソフトの応用②会場レイアウト作成演習					授業内容の復習(0.5時間)	
	7	情報の活用とソフトの応用③広告等のロゴ作成演習					授業内容の復習(0.5時間)	
	8	情報の活用とソフトの応用④広告用のアクセス地図を作成演習					授業内容の復習(0.5時間)	
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
評価方法	(1)各演習での作成物にて評価。(2)出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	演習作成物		◎	○			80%	
	出席状況				◎		20%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、科目単位を与えない。							

科目名	旅行業実務						
科目名(英)	Travel Business practice						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	高橋 榮二	
実施年度	2022年度		実施時期	後期	担当者実務経験	旅行会社にて、旅行企画及び法人営業に従事	
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	広告等に関する法令や、コンプライアンスの知識を知など、旅行業務の基礎を学ぶ。 現場で必要な最低限の観光地などを再学習し、旅程作成などに応用できるようにする。 旅行商品企画・プレゼンテーションの基礎を学ぶ。						
授業形式	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				国内・海外の観光地の名称を理解することができる。	
	○	○				旅行業務の基礎知識を習得することができる。	
		○				主要な観光地を含んだ旅程作成ができる。	
	○					旅行業界のCS、コンプライアンス知識を理解することができる。	
		○				旅行商品のプレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	「JR時刻表」2021年4月版 株式会社交通新聞社 旅行実務シリーズ「海外観光資源」 JTB総合研究所 旅行実務シリーズ「国内観光資源」 JTB総合研究所						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	旅行実務の概要・ウォーミングアップ				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	2	旅行地理(北海道・東北)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	3	〃 (関東・甲信越)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	4	〃 (伊豆・箱根)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	5	〃 (中部・関西)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	6	〃 (中国・四国)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	7	海外の観光地(アメリカ・カナダ)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	8	〃 (ハワイ・中米)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	9	〃 (オセアニア・南米)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	10	旅行商品の企画及びプレゼンテーション				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	11	時間管理とスケジュール管理				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	12	国内旅行業務の基礎知識(JR・航空・宿泊)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	13	海外旅行業務の基礎知識(航空・宿泊)				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	14	CS・コンプライアンスの意識				授業で使用した資料の復習をする(0.5時間)	
	15	まとめ				復習をして定期試験に備えること(2時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)企画及びプレゼンテーションを実施する。 以上を下記の割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				80%
	企画及びプレゼンテーション		○		○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養ⅡB											
科目名(英)												
単位数	1単位		時間数		15時間		担当者		瀧口 恵子			
実施年度	2022年		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	社会人基礎力養成として、2年間の一般教養の授業の総まとめとして実施。											
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○					主な国際機関について、その活動内容を理解し説明することができる。						
	○					漢字検定2級程度の漢字の読み書きができる。						
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる。						
	○					四則演算と基礎的なSPI問題内に正確に解答することができる。						
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	科目概要・シラバス説明、第1回(国際機関とその活動、世界遺産)					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	2	第2回 英文空所補充、英・日ことわざ					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	3	第3回 英文空所補充、SPI問題					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	4	第4回 漢字の知識、名数、歴史					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	5	第4回 英文空所補充、SPI問題					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	6	第5回 漢字の知識、読解問題、経済					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	7	第6回 漢字の知識、SPI問題、英文和訳					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	8	試験										
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											
評価方法	(1)定期試験(筆記) (2)出席状況を意欲点として評価 (3)宿題・レポート 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記)		○								80%	
	出席状況						○				10%	
	宿題・レポート		◎				○				10%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。											

科目名	社会教養ⅡB										
科目名(英)	Social StudyⅡB										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者				
実施年度	2022年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	トラベル科2年										
授業概要	社会人としての基礎知識や自己管理能力の必要性を考える機会とする。ストレス管理や体力の維持、集団行動力をスポーツなどの実体験を通して学ぶ。また、文化的体験を通して、福岡の観光資源の分析を行い、業界で働く上での知識の向上を図る。										
授業形式	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
				○		社会人として必要な自己管理能力を向上することができる。					
				○		集団行動を通して、リーダーシップ力や協調性の理解を深めることができる。					
			○	○		スポーツを通して、ストレス管理や体力維持の必要性を体感することができる。					
	○	○				文化的体験を通して、福岡の観光資源を学び、説明することができる。					
テキスト・教材 参考図書	なし										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	授業概要、スケジュール管理、目標設定									
	2	集団での役割 ～脳トレクイズ、プレゼンテーションゲーム～									
	3	社会人としての基礎知識① マナー									
	4	ストレス管理と体力の向上① 体を使ったゲーム									
	5	社会人としての基礎知識② ビジネスクイズ									
	6	福岡の観光資源① 博多街めぐり (2コマ連続にて実施)					リサーチ内容をまとめておくこと(0.5時間)				
	7	福岡の観光資源① 博多街めぐり					リサーチ内容をまとめておくこと(0.5時間)				
	8	プレゼンテーション～博多街めぐり～					リサーチ内容をまとめておくこと(0.5時間)				
	9	社会人としての基礎知識③出前講座					復習をしておくこと(0.5時間)				
	10	ストレス管理と体力の向上② スポーツ									
	11	福岡の観光資源② 大宰府天満宮周辺散策とリサーチ (2コマ連続にて実施)					リサーチ内容をまとめておくこと(0.5時間)				
	12	福岡の観光資源② 大宰府天満宮周辺散策とリサーチ					リサーチ内容をまとめておくこと(0.5時間)				
	13	プレゼンテーション～太宰府天満宮周辺散策～					リサーチ内容をまとめておくこと(0.5時間)				
	14	福岡の観光資源③ プランニング					事前に内容を考えておくこと(0.5時間)				
	15	社会人研修									
評価方法	1)出席状況を意欲点として評価 (2)リサーチした観光資源のプレゼンテーション 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	出席状況				◎		70%				
	プレゼンテーション		○		◎		30%				
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。										

科目名	サービス介助											
科目名(英)	Service assistance											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者					
実施年度	2022年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	超高齢社会にある日本において公共機関、交通機関、商業施設、レジャー施設、観光施設などあらゆる接客・接遇の場面で全ての人が安心して暮らしていけるサービスが必要である。この授業では、自分のできることや自分の役割を常に意識し、自発的に様々な人に関わり、円滑なコミュニケーションと快いサポートが提供できるようになるスキルの習得を目指す。											
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					超高齢社会の日本の現状を学び、高齢者体験を通して高齢者の心身の状況を説明できる。						
			○			肢体不自由者の状態を学び、サポートできるようになる。						
			○			肢体不自由者の状態に応じた車椅子介助ができるようになる。						
			○			視覚障がい者の状態と環境を学び、体験を通し介助のしかたを工夫して提供できるようになる。						
		○				聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助のしかたを工夫できるようになる。						
テキスト・教材 参考図書	なし											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	超高齢社会の日本の現状					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	2	肢体不自由者 一肢体不自由者とは					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	3	肢体不自由者 一車椅子介助の操作演習					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	4	肢体不自由者 一車椅子介助の操作演習					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	5	肢体不自由者 一車椅子介助の操作演習					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	6	肢体不自由者 一車椅子介助の実技試験					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	7	高齢者介助 一高齢者体験					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	8	高齢者介助 一高齢者の現状					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	9	高齢者介助 一高齢者の心身の変化					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	10	視覚障がい者 一視覚障がい者体験(目隠し歩行)					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	11	視覚障がい者 一視覚障がい者介助演習					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	12	視覚障がい者 一視覚障がい者の現状					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	13	聴覚障がい者 一聴覚障がい者とは					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	14	聴覚障がい者 一聴覚障がい者介助演習					本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)					
	15	総まとめ・レポート課題										
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)レポート、課題プリントの提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	授業中の実技試験						◎		◎		50%	
	レポート提出		○		◎				◎		50%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。											